

意見書 小学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	巻頭では、道徳授業のステップや話合いの留意点などをまとめて示したり、学習活動をイラストで紹介したり、目標達成へ向けてとても工夫されている。
	2	巻末にある学びの記録欄は自己評価に活用でき、特に「学習のまとめ」は、学期毎に児童が自らの成長を振り返り実感できるよう、配慮がみられる。
	①	卷頭では話し方と聞き方の約束、考える視点が吹き出しに示されており、対話的な学びに向けて工夫されている。
	②	3年以上に、「問題をみつけて考える」という扉ページと教材で構成された問題解決的な学習が設定されている。教材文末の「考えるステップ」での学習活動の例示は、価値を追求し、対話を通して新たな自分の考えを見つけることができるよう、工夫されている。
	③	各学年に一箇所、いじめ防止に関する「とびらページ・直接的教材・間接的教材」の3つの要素からなるユニットが設定しており、複数時間にわたりじっくり考えることができるよう、工夫されている。(例：6年ユニット55～64頁)
	3	郷土の発展に尽力した人たちや郷土の作家たちが多数掲載されており、通潤橋や布田保之助の写真が掲載されており、他教科との関連付けながら勤労観や職業観を育むことも期待できる。
	4	1～3年の情報モラルでは、言葉を通したコミュニケーションの中で生じる身近な問題を、4～6年ではインターネットについての問題を取り上げ、発達段階に応じた学習ができるよう、とても工夫されている。(例：1年「いたずらがき」110～112頁)
	5	命のつながり、日常を生きることの大切さ、心の中で生き続ける命、生と死等を取り上げ、命の尊さについて多面的に考えられるよう、とても工夫されている。
	6	日本によさや町のじまん、世界中の言葉と文化のちがいについて等が取り上げられ、郷土を愛する心、多様性や平和について学習できるよう、工夫されている。 (例：3年「ばくのおべんとう」98～101頁、5年「折り紙大使」～加瀬三郎 79～83頁)
	7	豊かな人権感覚を養うために、差別や偏見のない公正公平な態度の大切さ、バリアフリーのみんなが住みよいまちづくり等、発達段階に応じた多様な内容を取り扱い、自分の生き方を振り返ることができるよう、発問が工夫されている。
教科書展示会の結果（学校7 一般0 合計7）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 挿絵がきれいで優しい感じがする。目次が領域で分けられていて、マークも分かりやすい。 いじめ問題に力を入れている。発問は2つでシンプルである。(ただし、1・2年は発問書いていない) 		

選定委員会の意見

2年以上では巻頭で9ページ分、学習の進め方、授業の様子などが示されており、児童が興味・関心をもって学びに向かうことができるよう工夫されている。問題解決的な学習の手引きを例示し「考える道徳」「議論する道徳」の実現へ向けた工夫がされており、「いじめ問題」については、とびらページ、直接的教材、間接的教材からユニット化され充実が図られている。

意見書 小学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
学校図書	1	巻頭でイラストを用いて、道徳の学習では何をどのように学ぶのかを把握できるよう示しており、ノートは児童が教材と内容項目との関係が理解できるよう、内容項目順にまとめられ、とても工夫されている。
	2	ノートは内容項目の順に配列され、1~2つの教材の学習を1ページに書くように構成されている。1時間単位だけではなく、過去の自分と対話をしながら成長を実感することもでき、よく工夫されている。
	①	ノートには友達の考えを書けるスペースがあり、巻末には話合いや役割演技の仕方が示されており、対話を通して考えを広げ深めることができるよう、工夫されている。
	②	ノートにある教材に関する問い合わせ「やってみよう」には、役割演技等を通じた深い学びができるような配慮がみられる。
	③	ノートに記載された教材が計画的に配列され、充実が図られている。
	3	各学年で先人の伝記や現代で活躍する著名人、スポーツで活躍した人物や職人などが取り上げられ、将来への夢や希望を抱くなど、発達段階に応じた勤労観・職業観を育むことができるよう、配慮されている。(例:きづき5年「今しかできないこと」44~48頁)
	4	他者への共感や思いやりなどから情報モラルにつないだり、具体的な生活場面に即した教材でインターネットを使用する際の問題点やコミュニケーションに関する問題点を学ぶことができたり、発達段階に応じて工夫されている。
	5	実際の出来事を題材に、写真やグラフ、新聞記事などを用いて、児童が現実の問題として自分のこととして考えたり、多様な考えに触れたりするための工夫がみられる。
教科書展示会の結果	6	各学年で複数の教材が設定されており、特に、熊本が世界農業遺産として紹介されていること、復興に向けて困難な作業を成功させる人々の姿について描かれていることで、本市の子どもにとって郷土を愛する心を育むこと
	7	が期待できる。(例:きづき6年「復興のシンボルを私たちの手で」44~47頁)
教科書展示会の結果	8	人権についての教材が複数掲載されており、仲間を思う心、互いを認め合う心など発達段階に応じた工夫がされている。(例:きづき6年「作業服のノーベル賞」64~67頁)
		結果(学校12 一般0 合計12)
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 挿絵が温かいのでお話を読んだ後じんわりくる。写真も美しい。 教科書は「気づき」、ノートは「まなび」と名前がついていて、読み応えがあるので授業での使い方が難しそう。 		
選定委員会の意見		
道徳的な価値や課題と出会う「きづき」と、それをもとに考える「まなび」の2冊で一つの教科書として構成され、主体的な学習への工夫がみられる。「まなび」は内容項目ごとにまとめられ、複数教材で1ページを使用することもあり、児童は1時間の振り返りだけではなく、過去の自分と対話しながら成長を感じることができる。また、友達の考えを記入でき、対話を通して自己の考えを深めることへ向けての工夫がある。		

意見書 小学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
教育出版	1	巻頭で、道徳で何をどのように学ぶかがわかりやすく示されていて、多面的・多角的に考えられるよう同じ内容項目の教材をまとめて配列するなど、とても工夫されている。
	2	巻末に「学びの記録」があり、視点をもって学期や1年間の振り返りができ、児童が成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるよう、工夫がみられる。
	①	教材文末の学びの手引きには、対話を促す問い合わせ、イラストや吹き出しがあり、工夫されている。
	②	「スキル」では、道徳的行為に関する体験的な学習を、教材文末にある「やってみよう」では、役割演技等の疑似体験的な表現活動を取り入れた学習があり、行為や活動を通して学んだ内容から深い学びができるよう、学習活動がとても工夫されている。
	3	直接的、間接的な内容を発達段階に応じて配列しており、児童の現実的な問題を取り上げて深い学びができるよう、工夫されている。
	4	スポーツで活躍した人物が多く取り上げられており、児童が夢や希望を持ち、自分自身を高めていこうとする意欲を培うことができるような教材の工夫がされている。 (例：1年「すきなものを見つけよう澤穂希」86～89頁)
	5	著作権やメールでのコミュニケーション、情報に関するマナーなどについて、発達段階に応じた内容で、工夫されている。
	6	生命についてはユニット化されており、低学年では自分の誕生や成長、中学年では実話をもとに命が多くの人々に支えられていること、高学年では生命のつながりについて考えることができ、とても工夫されている。(例：2年「せい長かいだん」108～109頁)
	7	児童が自分の地域を振り返ることができるような問い合わせが設定されていたり、先人の姿から他国の人々とつながり協力していこうとする態度を育んだりすることができるよう、工夫されている。(例：5年「ブータンに日本の農業を」126～130頁)
	8	2年生の教材では電車の中で妊婦を守っている男性の様子が描かれており、「すてきなところを話し合いましょう」という問い合わせがあり、人権感覚を養い人権意識を高めるための発達段階に応じた工夫がされている。(例：2年「電車の中で」58～61頁)
教科書展示会の結果（学校11 一般1 合計12）		
【学校】 ・ねらいが明確に掲げてあり、目標があって分かりやすい。		
【一般】 ・お辞儀の角度や座った姿勢統一とその理由等はなくて、礼儀にこだわっているようで、科学的な内容への入り口も保健体育の近視の予防、背骨の変形などの方が、説得力がある気がします。		
選定委員会の意見		
教材冒頭にあるキャラクターの言葉をもとにして、問題意識をもって授業に臨むことができ、教材末には学びの手引きが示してあり、特に役割演技を生かした話合いの充実が図られるよう、工夫されている。生命尊重については、重点テーマとしてユニット化され、多様な教材を通して多面的・多角的に考えができるよう、配慮されている。		

意見書 小学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
光村図書	1	・巻頭で何をどんなふうに学ぶのか、何について考えるのかを確認することができ、現代的な課題についてはユニット化されており、内容の達成に向けてとても充実している。
	2	「学びの記録」が3箇所あり、1時間単位やまとまった期間での振り返りができる、自己を見つめることができるよう、よく工夫されている。
	①	
	②	2年以上では、巻頭でイラストと吹き出しで話合いや役割演技の方法が発達段階に応じた内容で示されており、配慮されている。
	③	各学年、問題解決的な学習が複数教材設定してある。判断を伴う場面を取り上げたり、イラストから問題点に気づかせたり、自分事として課題解決に向け話し合い、思考を深めることができるよう、問い合わせがよく工夫されている。
	3	様々な内容項目からいじめ問題に結びつく教材とコラムを組み合わせたユニットが設定されており、系統的に学習できるよう、よく工夫されている。（例：1年「いじめをやめる心」52～60頁）
	4	自分の得意なこと、よいところに気付いて個性を伸ばしていくこと、目標をもって努力することの大切さについて考えることができるよう、工夫されている。 (例：3年「『わたしらしさ』をのばすために」142～145頁)
	5	情報モラルはユニット化され、低学年では身の回りのきまり、中学年からはゲーム依存や情報のすれちがいなど、発達段階に応じた内容で、問題点やマナーについて考えれるよう、問い合わせがよく工夫されている。（例：6年「気に入らなかつた写真」92～98頁）
	6	生命について各学年3つずつ位置づけられ、命の連續性や有限性等、多面的に考えられるよう、とても充実している。
	7	「大切な物」を考えることを通して国際理解を学ぶ教材があるなど、児童が興味をもち自分のこととして深く考えるための工夫がみられる。（例：4年「わたしの大切な物」132～135頁）
	8	さまざまなユニバーサルデザインの紹介、視覚障がい者と点字ブロックについて詳しく書かれている教材もあり、共生社会の形成に配慮されている。
教科書展示会の結果（学校9 一般1 合計10）		
【学校】		
・偉人など人物を多く扱っている。		
・国語の教科書のようで、読むことが苦手な児童は、それだけで内容が入ってこない気がした。		
【一般】		
・1～5が絵ばかりのところがよかったです。平仮名を読めない子どもがいるので、疲れにくい。		
選定委員会の意見		
「いじめ問題」に重点が置かれ、ユニットを組み2つの教材とコラムをセットにし、児童一人一人がいじめについてじっくりと考えることができるよう、よく工夫されている。また、教材文末の学びの手引きは必然性のある発問が多く、問題解決的な学習や体験的な学習もあり、「考える道徳」「議論する道徳」の実現に向けて、よく工夫された教科書となっている。		

意見書 小学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	巻頭で、道徳科で何をどのようにして学ぶのかについて、イラストや写真を用いて分かりやすく説明しており、現代的な課題についてはユニットを組んで配列しており、内容の達成に向けてとても充実している。
	2	道徳ノートが各教材と対応しており、書く活動を通じて自分の考えを整理し、1時間単位やまとまった期間での振り返りができ、自己を見つめるためによく工夫されている。
	①	「学習の手引き」には、友達と自分の考えを比較することを促す文章と写真、吹き出しがあり、対話を通して道徳的価値の理解を深めることができるよう、工夫されている。
	②	各学年5つの教材文末には「学習の手引き」があり、問題解決的な学習と道徳的行為に関する体験的な学習等の学習過程が丁寧に示されており、よく配慮されている。
	③	各学年に「人との関わり」をテーマとしたユニットが年間3回配置されており、教材と正しい認識や実践を意識したコラムと組み合わせることで、より深い学びになるよう、よく工夫されている。（例：6年「人との関わり①いじめをなくすために」12～27頁）
	3	生きる勇気や知恵が感じられる教材とともに、人としての弱さを見せる姿も表現するなど、多様な生き方について取り上げてあり、深く考えるための充実を図っている。（例：6年「杉原千畝」120～123頁）
	4	情報モラルについては、各学年ユニット化され、高学年では著作権やメールが相手に与える影響を考えるなど、発達段階に応じてとても工夫されている。（例：5年「知らない間のできごと」142～147頁）
	5	命が生まれ育つこと、震災で助けられた命、小さな生き物の命、生命の尊厳についてなど、多面的・多角的に考えることができるような教材が多く、とても充実している。
	6	おもてなしの心、郷土自慢としての祭り、日本の伝統（浮世絵）など多様に取り上げ、写真を効果的に活用し、郷土や国によさを感じられるよう、配慮されている。
	7	障がい者の人権、高齢者の人権、難病をめぐる人権、様々な人権侵害など、発達段階に応じた多様な教材が扱われ、コラムで認識を高めるための工夫もあり、配慮されている。
教科書展示会の結果（学校47 一般1 合計48）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話に合わせて「学習の手引き」が付いており、活用すると学習を深めやすい。 目次を見ると複数の教材をユニットにしてあり学習を展開していくうえでとても便利である。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ノートの書くところが要点を押さえている。ノートが改善され、使いやすくなっている。 		
選定委員会の意見		
<p>目次は、問題解決的な学習や体験的な学習、重点テーマがマークや言葉で示しており、教材との関連がわかりやすく、「学習の手引き」は「考える道徳」「議論する道徳」に向けた学習の流れが丁寧に示され、とても工夫されている。いじめ防止については年間3回ユニットが配置されており、とても充実している。道徳ノートにある自由欄は主体性への配慮があり、自己の成長を感じ、生き方につなぐことができる。</p>		

意見書 小学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
光文書院	1	巻頭で道徳の学習で何をどのようにして学ぶのかを明確に示し、現代的な課題についてはユニット化され、発達段階に応じて重点的に学習できるよう、よく工夫されている。
	2	巻末の「学びの足あと」では、発達段階に応じた記録欄があり、1時間単位やまとまった期間での振り返りができ、自己を見つめることができるよう、よく工夫されている。
	①	巻頭の「話し合って考える」では、イラストと吹き出しで話合いの方法が示されており、配慮されている。
	②	各教材文頭に導入のための問い合わせがあり、教材文末に、その問い合わせについて自分の考えをまとめるような投げかけがあり、児童が問題意識をもって学習に臨み、ねらいとする道徳的価値を追求することができるよう、学習活動がとても工夫されている。
	③	いじめ防止については、各学年、複数教材扱ってあり、コラム「みんな仲よし楽しい学校」では、生活場面を取り上げ、一人一人のよさを認めること等、いじめの防止に主体的に関わる態度を育めるよう配慮がみられる。
	3	身近で興味が持てる教材が取り上げられており目標をもって努力することの大切さを学ぶために工夫されている。（例：3年「世界一うつくしい体そうをめざして」62～65頁）
	4	噂で不確かな情報を流すこと、情報機器の使い方で友だちとけんかになってしまったことなど発達段階に応じた内容で、コラムにより深めることもでき、とても充実している。（例：3年「うわさ話・つらい気持ち」56～61頁）
	5	生命について重点化され、「①問い合わせをもつ②命の連續性を学ぶ③命の関連性を学ぶ」という3段階で学習を深めることができ、発達段階に応じた内容でとても工夫されている。
	6	習慣の違いを知る、お互いの暮らしに興味を持つことをねらった教材が取り上げられ、発達段階を考慮し、よく工夫されている。熊本城が教材化されており、本市の児童にとって郷土を愛する心を育むことが期待できる。（例：6年「よみがえれ熊本城」180～183頁）
	7	インクルーシブ教育の観点から、車椅子の子ども、外国人の子どもが一緒に室内外で活動している様子が描かれ人権感覚の醸成に配慮されている。（例：1年「みんなでたのしく」10～11頁）
教科書展示会の結果（学校10 一般1 合計11）		
【学校】 ・学習の流れ（手引き）が詳しくわかり、道徳に慣れていない人も取り組みやすいのではないか。		
【一般】 ・マークの意味をとらえやすくしている。4つの心と、特に1年生で大切にしたいことははつきりしていて評価しやすい。		
選定委員会の意見		
主体的・対話的で深い学びにつなげられるように、「導入」での問題を意識して学習に臨み、教材文下段や教材文末にある問い合わせでねらいに迫ったり、多面的・多角的な思考を促したりするなど、よく工夫されている。生命尊重については重点化され、複数時間構成で全学年において扱うようになっており、充実している。		

意見書 小学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
学研	1	巻頭では、イラストを用いて道徳の学習で何をどのように学ぶのかを示し、全学年で「いのち」「生き方」をユニット化して重点的に学習するなど、よく工夫されている。
	2	卷末にある「心の宝物」には、道徳4つの視点毎に1年間の学びを振り返り、次年度への希望や目標を記録する欄があり、自己をみつめるための配慮がみられる。
	①	教材文末にある「深めよう」では、話し合いを促す文章とイラストが示されており、対話をとおした学び合いへの工夫がされている。
	②	「深めよう」では、教材の問題点を考え解決に向けて話し合うための過程が、「やってみよう」では、役割演技の方法や話し合いの仕方等が例示されており、深い学びとなるよう、工夫されている。
	3	各学年、いじめ防止につながる教材が複数設定されており、多面的・多角的に考えることができるよう、教材の形式や問い合わせが工夫されている。
	4	オリンピックやパラリンピックで活躍する人など、スポーツを題材とする教材が取り上げられ、目標に向かって努力することの大切さについて考えることができるよう、配慮されている。(例：5年「世界に羽ばたく『航平ノート』」28~31頁)
	5	重点化されており、ネットルールや個人情報について児童の具体的な生活場面に即した教材があり、いずれも教材の後に「広げよう」としてコラムが設定され、より深く学べるよう、配慮されている。(例：6年「会話のゆくえ」110~113頁)
	6	生命尊重を重点テーマとし、各学年3つ配列され、「いのち」としてユニット化されており、生き物や人の生きる姿から命について多面的・多角的に捉え自己の生き方を深めることができるよう、とても工夫されている。(例：4年ユニット123~131頁)
	7	具体的な写真から伝統文化のよさを感性に訴えかけるよう、とても工夫されている。熊本地震を通してつながったネパールとの交流が描かれた教材は、本市の子どもにとって国際理解についての深まりを期待できる。 (例：3年「けい君の秋田竿燈まつり」52~54頁、3年「思いをこめて」134~137頁)
	8	先人の姿から人権感覚を高めたり、ユニバーサルデザインについて考えることで共生社会の形成を目指したりするなど工夫されている。
	教科書展示会の結果（学校12 一般0 合計12）	
	【学校】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本のサイズが大きいので挿絵も見やすく文字も読みやすい。 ・4つの内容項目ごとにお話を分類してあるページが、子どもたちにも分かりやすいと思う。 ・教材の内容が子どもの実生活に近いように感じた。 	
	選定委員会の意見	
	各学年で「いのち」「生き方」の2つのユニットが組まれ、他者とともにによりよく生きるために広く深い学びができるよう工夫されている。教材文末の「深めよう」では問題解決的な学習、「やってみよう」では役割演技を促すような学習展開が例示され、「考える道徳」「議論する道徳」の実現に向けた多様な指導方法が工夫されており、児童が意欲的に学習に取り組めるよう配慮された教科書といえる。	

意見書 小学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
廣済堂あかつき	1	2年以上の巻頭に道徳の時間で学習することについて示しており、目標達成へ向けての配慮がみられる。
	2	ノートの後半に記録欄があり、1時間単位やまとまった期間での振り返りができる、自己をみつめるよう、よく工夫されている。
	①	2年以上の巻頭に「道徳の時間はこんな時間」があり、話す、聞く、話合うことの大切さが文章で書かれ、対話を通した学びへの配慮がみられる。
	②	教材文末の「学習の道筋」には、問題解決的な学習を促す学習活動や役割演技を促す問い合わせがあり、深い学びとなるための配慮がみられる。
	③	発達段階を考慮し、「仲間はずれ」「友達同士のトラブル」等を題材としたものから、直接的にいじめを扱ったものなど複数教材設定され、充実が図られている。例：6年「苦い思い出」26～27頁)
	3	先人の伝記や様々なジャンルで活躍する著名人、スポーツ選手などを扱った教材が発達段階に応じて各学年に配列されており、配慮されている。
	4	情報モラルについて、低学年では情報を発信する際の問題点について、中学年は情報を得る際の問題点について、高学年はインターネット上の問題点について取り上げられ、発達段階に応じた身近な内容となっており、自分との関わりで考えることができるよう、教材がとても工夫されている。(例：1年「けいじばんのらくがき」66～68頁)
	5	生命の尊さは重点項目に置かれ、各学年3教材ずつ配置されており、教材と教材の間にコラムをはさみユニットで扱い、生命を多面的に捉え、生命を一生懸命に生きることの素晴らしさについて考えるなど、とても充実している。(例：3年26～31頁)
	6	日本のかたよさ(四季・織物・和食・ロボット・漫画など)から国や郷土の大切さを考えることができるよう、充実している。(例：5年「日本のかたよさを知って」76～79頁)
	7	人種差別、高齢者の人権、難病をめぐる人権等が取り上げられ、共生社会について考えるために、配慮されている。(例：3年「母のせなか-渋沢栄一-」100～103頁)
教科書展示会の結果(学校11 一般0 合計11)		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> とりあげてある話が、子どもたちにとって興味深いものが多く、自分と重ね合わせて考えることができる。 「心のしおり」に保護者印を記入するところがあり、本の持ち帰り(親子道徳の日など)には使いやすいと思った。 		
選定委員会の意見		
<p>「考え方話し合う」問い合わせが書かれた教科書と、自分の考えを書き込める道徳ノートが別冊となっており、それぞれの充実を図れるよう工夫されている。教材文末には「学習の道すじ」が示され、めあてと発問が書かれており、児童が主体的に学習できるような構成となっている。また、全学年に「命の教育」特別ページを設け、自他の生命尊重について多面的・多角的に学習できるよう、充実が図られている。本市の児童が意欲的に学習に取り組めるよう、配慮された教科書といえる。</p>		

教科書展示会の全体的な意見（学校 16 一般 4 合計 20 ）

【学校】

- ・どの教科書も、今の子どもたちの実態にあっていてよかったです。道徳ノートも改善され、使いやすくなっているように思った。教材もいくつか書き直しがされていた。考えやすくなっている。
- ・教科書の単元ごとに QR コードが載っていて実際の写真がすぐに見られるところは、ipad も普及し子どもたちが自分で気になったら調べられそうで、とてもよいと思った。
- ・道徳の教科書でテーマや内容項目ごとにまとまっているとすごく分かりやすくてよいと思った。学校行事の内容がある教科書があり、実際に取り組む前に道徳で教えられてよいと思った。

【一般】

- ・子どもたちに学んでほしい外国人への差別や障がい者のこと等がよくまとめてあったのは光村図書で、ハンセン病や世界人権宣言、ユニバーサルデザインのこと等、学びやすい形になっていた。
- ・東京書籍と日本文教出版は、絵や写真に工夫があり、読みやすかった。1年生の教科書を見てみると、他の出版社のものは文章の量が多く、読みにくいと思った。

選定委員会の意見

道徳科の目標は、「学習指導要領第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」である。

全 8 社の教科書とも、学習指導要領の目標及び内容に従い、それぞれに工夫された内容構成となっている。

光村図書の教科書に関しては、次の点が工夫されていると報告がなされた。

- ・「学びの記録」が 3 箇所あり、1 時間単位やまとめた期間での振り返りができ、自己を見つめるためによく工夫されている。
- ・各学年、問題解決的な学習が複数教材設定してある。判断を伴う場面を取り上げたり、イラストから問題点に気づかせたり、課題解決に向け話し合うことができるよう、問い合わせがよく工夫されている。
- ・様々な内容項目からいじめ問題に結びつく教材とコラムを組み合わせたユニットが設定されており、系統的に学習できるよう、よく工夫されている。

日本文教出版の教科書に関しては、以下の点が工夫されていると報告がなされた。

- ・道徳ノートが各教材と対応しており、書く活動を通じて自分の考えを整理し、1 時間単位やまとめた期間での振り返りができる、自己を見つめるためによく工夫されている。
- ・各学年 5 つの教材文末には「学習の手引き」があり、問題解決的な学習と道徳的行為に関する体験的な学習等の学習過程が丁寧に示されており、対話的な学習も促しながら子どもの思考が深まるようよく配慮されている。
- ・各学年に「人との関わり」をテーマとしたユニットが年間 3 回配置されており、教材と正しい認識や実践を意識したコラムと組み合わせることで、より深い学びになるよう、よく工夫されている。